

ザンテックデスクトップ赤外線リピーターマニュアル

赤外線（IR）リピーターはAV機器等で使われる赤外線リモコンからの信号を受信して、赤外線リモコンからの信号が直接届かない場所：キャビネット内や別の部屋に設置されているAV機器まで有線で赤外線信号を伝え、操作するための装置です。

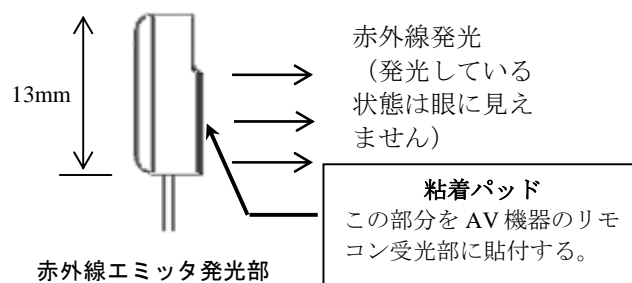
ザンテック F8298 赤外線リピーターには、**接続ブロック（1 エミッタ出力）：F8133 が付属**しています。他に、**赤外線エミッタ、パワーサプライが必要**になりますので、別途お求めください。2台以上のAV機器を操作する場合は、4または6エミッタ出力の接続ブロックと必要な数の赤外線エミッタを利用してください。

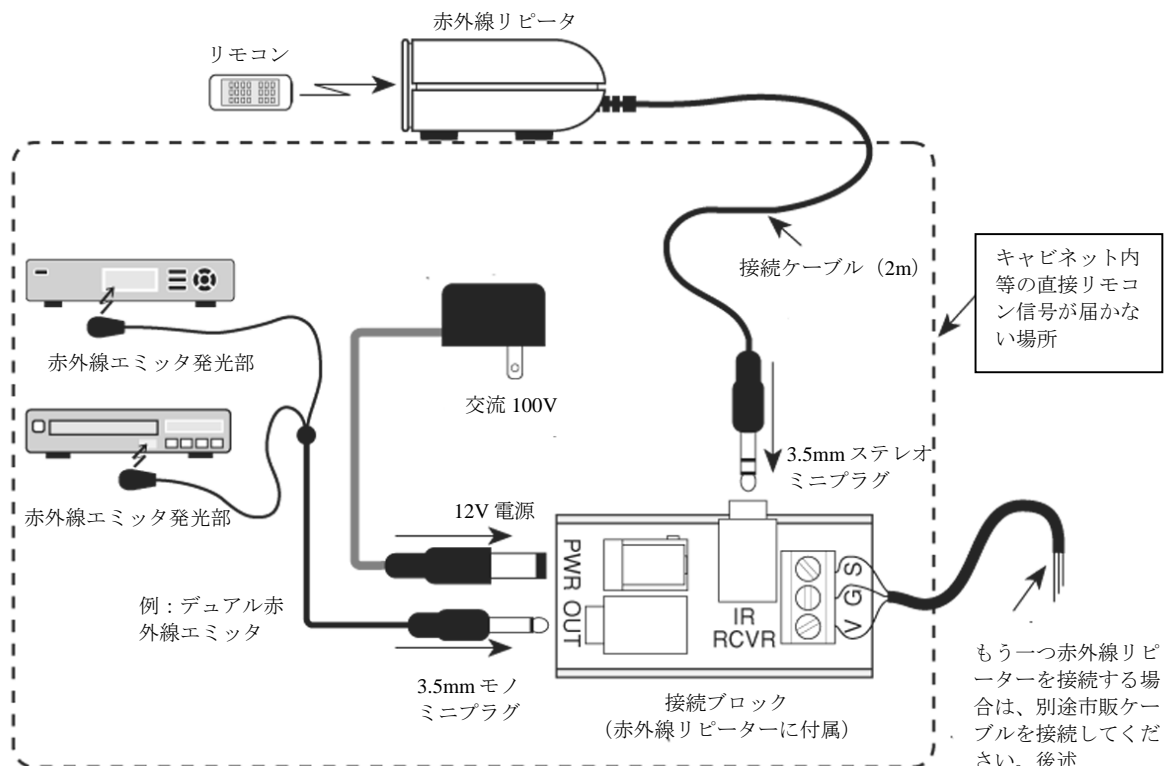
配線/設置

1. 赤外線リピーターをキャビネット上に設置します。テレビのディスプレイ前より奥に設置してください。
2. 接続ブロックを付属の両面テープを使って、配線しやすい場所に設置します。
3. 接続ブロックに赤外線リピーター、赤外線エミッタ、電源を接続します。この時点では電源を100Vコンセントに接続しないでください。
4. 赤外線エミッタの発光部には、両面テープが貼付されていますので、保護テープを剥がしてAV機器のリモコン信号受信窓に貼り付けてください（下図参照）。デュアル赤外線エミッタはケーブルをコネクタ部まで2本に裂くことができます。2台の機器が離れて置かれている場合は、必要な長さまでケーブルを裂いて利用してください。
5. 電源を100Vコンセントに接続します。
6. お手持ちのリモコンを赤外線リピーターに向けて操作すると、赤外線リピーター前面の赤いLEDが発光して信号を受信していることを示します。
7. 同時にAV機器が動作しない場合は、赤外線エミッタの貼付位置がリモコン信号受信窓からずれている可能性がありますので、貼付場所を調整してみてください。

注：配線中は電源を入れないで下さい。電源を入れたまま赤外線エミッタを接続すると故障の原因となります。

注：赤外線リピーターの確認LEDが常に点灯し続ける場合は、“トラブルシューティング”を参照してください。





上図はデュアルタイプの赤外線エミッタを接続した場合です。片側の赤外線エミッタだけ使用してもかまいません。

もし二つ以上の赤外線エミッタを取り付けたい場合は、他の接続ブロック（2，4，6エミッタ出力）を使って、複数本数の赤外線エミッタケーブルに分岐することができます。

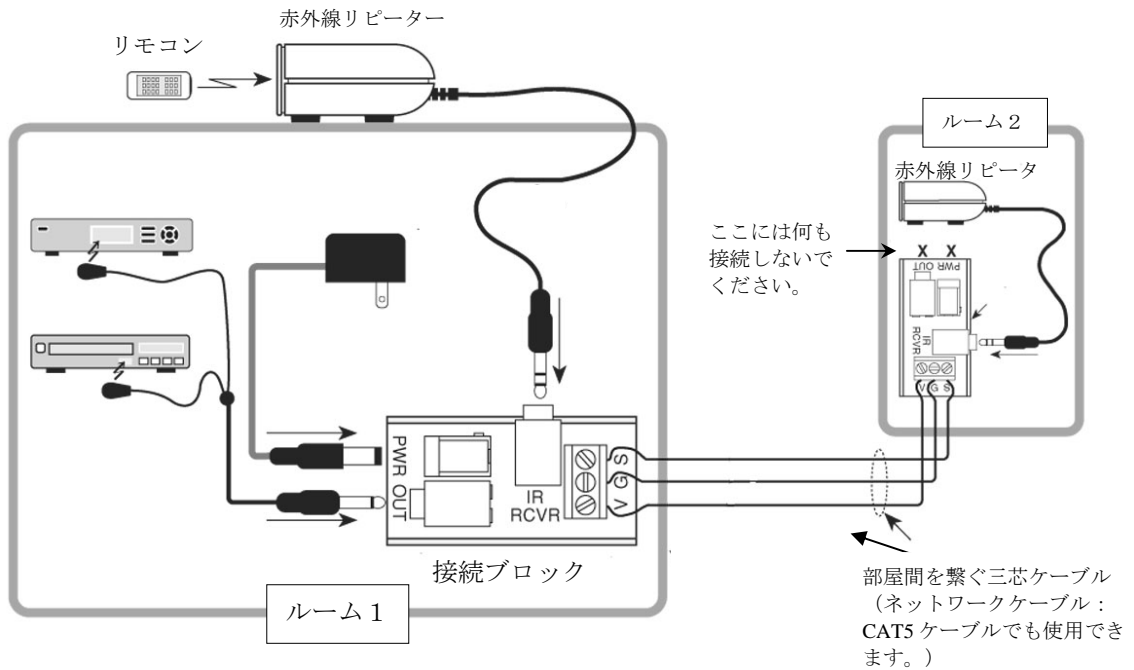
赤外線リピーターを追加する

赤外線リピーターを追加するには、接続ブロックには3端子ターミナルを利用して、別の接続ブロック間を相互に接続し、それぞれの接続ブロックに接続された赤外線リピーターを両方使用することができます。3端子ターミナルのV. G. S. のマークは、それぞれV : +12V 電源、G : GND、S : 赤外線信号を示します。

接続は下図のように三芯のケーブルで接続ブロック間を接続して下さい。入手しやすいネットワークケーブル（CAT5 ケーブル）を利用した場合で、30 - 40mの距離の使用が可能です。線は撻り線でも単線タイプでもかまいません。

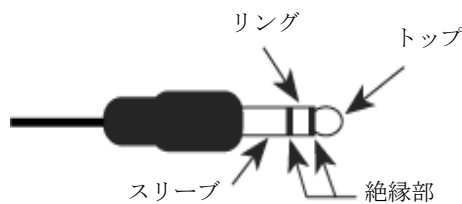
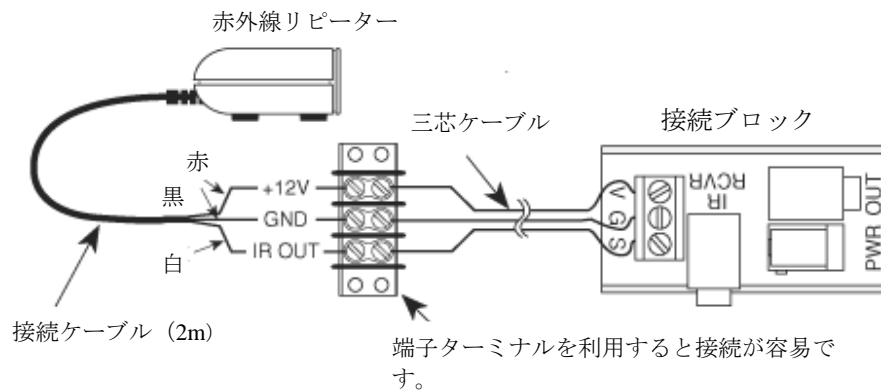
電源は赤外線エミッタが接続されている接続ブロックのみに接続してください。

より多数の部屋からも機器を操作できるようにするには、別の接続ブロックが必要ですので、お問い合わせください。



赤外線リピーターケーブルの延長

赤外線リピーターのケーブル（約2メートル）では足りない場合は、15m 延長ケーブル（F8784）を利用して、リピーターケーブルまたはエミッターケーブルを延長してください。または、下図のように付属のケーブルを途中で切って、そこから市販のケーブル（ネットワーク用 CAT5 ケーブル等）で延長し、接続ブロックに接続することもできます。



赤外線リピーターケーブルプラグ

プラグ	ケーブルの色	線種
リング	黒	GND
トップ	白	信号
スリーブ	赤	直流 1 2 V

トラブルシューティング

- 赤外線リピーターの確認 LED が常に点灯し続けていて、正しく動作しない場合の原因として次のことが挙げられます：
 - 液晶 TV の蛍光管、プラズマディスプレイ、ハロゲン灯、ネオンアートや照明ディマー、直接又は間接の太陽光線、アクティブ赤外線センサ、CRT モニター等の影響が及ぼさず、赤外線リピーターの確認 LED がリモコン信号受信時以外のときに点灯しなくなるようにリピーターの位置を変更してください。
 - 赤外線ノイズは明るい色の周囲の壁や家具等に反射して赤外線レーザーに入光しますので、周囲に黒い色の布や物を置いたり、赤外線レーザーに覆いをし、入光角度を制限することで改善することがあります。
 - 赤外線リピーターの確認 LED が常に点灯し続ける状態で、継続して使用すると故障につながる可能性があります。
- 赤外線リピーターの確認 LED が赤外線受信時に点灯しない時は、次のような確認操作をお勧めします：
 - AC アダプタがコンセントに挿されていますか？
 - 赤外線リピーターのステレオミニプラグが接続ブロックの” IR RCVR” コネクタに接続されていますか？ (“OUT”コネクタに接続されていないことを確認して下さい。)
 - 直接ケーブルで配線している場合、接続ブロックの 3 端子ターミナルに正確に配線されていますか？
- もし赤外線リピーターの LED が点灯して動作を確認しているのに、機器が正確に動作しない場合は、赤外線エミッタ発光部が正しい位置に付けられていない可能性があります。赤外線エミッタ発光部は必ず機器の赤外線受信窓の前に、貼り付けて下さい。

注意事項

- 赤外線リピーターの確認 LED が、リモコン信号受信時以外に常に点灯した状態が続くと、赤外線エミッタの寿命が短くなることがありますので、必ず赤外線リピーターの確認 LED が常点灯しない位置に設置してください。
- 同じ部屋の中で複数の赤外線リピーターを使用しないで下さい。信号は多数の回路内で堂々巡りをはじめ、どのような命令にも応答しなくなります。
- 配線中は電源を入れないで下さい。電源を入れたまま赤外線エミッタを接続すると故障の原因となります。

スペック

F8298

赤外線信号変調バンド幅： 25-65 KHz

赤外線受信可能範囲：約 9m （距離は機器の調整や周囲の環境等でも変わります）

サイズ：80W x 18H x 51D mm
受信可能な受信器正面からの角度：45 度
最大電流： 100mA
電源：12V